

※この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性（Female）と男性（Male）がともに支え合い、対等な立場で社会（Society）を形成することを願って!!
第26号 企画課 男女共同参画室（内線2238）

無意識の偏見

～アンコンシャス・バイアス～

「アンコンシャス・バイアス」日本語に訳すと「無意識の偏見」というこの言葉は近年関心が高まっている言葉のひとつです。

自分自身が気付かずに持つ偏った見方・考え方・思い込みなど、このようなアンコンシャス・バイアスは、これまでの環境や経験、自らの属する集団が大きく影響します。

「自分には偏見なんて無い」と思っている方も多いと思いますが、人間はみな偏見を持っているのです。

あなたにもこんな思い込み（アンコンシャス・バイアス）はありませんか？

- ☐ 来客受付やお茶出しは女性の仕事だ
- ☐ 子どもを持つ女性に出張や残業は頼めない
- ☐ 男性は理系、女性は文系の科目が得意だ
- ☐ 足が速い人は、スポーツ全般得意だろう
- ☐ 一人っ子や末っ子は甘やかされて育ったはずだ
- ☐ B型の人は自己中心的で、O型の人は大雑把
- ☐ 車の運転は男性がしてくれるはずだ
- ☐ 男性の育児休暇には違和感がある
- ☐ 最近の若者は根性がない
- ☐ 政治は男性のもの



自らが持つアンコンシャス・バイアスに気づくことはできたでしょうか。このような思い込みは、個人の歪んだ判断の原因になることがあります。自分自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、またそれを意識することが大切です。

この男女共同参画情報紙「さんかく」をつくっている編集委員は、「男女共同参画について知識・理解のある専門家だろう」なんて思っている方が多いのではないのでしょうか？

では、今回の「さんかく」を作成している様子を少し覗いてみましょう。

固定観念は意識しても変えるのは難しいかもしれないね。

雪かきは男性の仕事って思っているところがあるかも！

小さい子どもを持つ女性には泊りがけの出張をお願いできない。実際は子どもを見てくれる人がいて、出張に行けるかもしれないのにね。



編集委員の募集

編集委員もみなさんと同じようにアンコンシャス・バイアスを持つ者のひとりです。
私たちと一緒にみんなが輝ける社会を目指して、男女共同参画について考えてみませんか？ご連絡お待ちしています。
企画課男女共同参画室
TEL：0173-35-2111 内線2238
メール：danjo@city.goshogawara.lg.jp



フラインドオーディション

アメリカのオーケストラ団員のオーディションでのことです。

かつて女性奏者の割合は5～10％程度でした。ですが、応募者の性別が審査員にわからないようブラインド（目隠し）オーディションを取り入れた効果から、審査を合格する女性の比率が数倍に跳ね上がり、結果、女性比率は40％ほどになったそうです。

アンコンシャス・バイアスが人の評価に大きく影響しているのです。

政治分野における男女共同参画 一歩前進！！

日本の国会議員の女性比率は、列国議会同盟の調査によると193か国中158位と先進国では最低レベルとなっています。

このような現状を受け国は、平成30年5月23日に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」を定めました。

法律の内容は、推進に関しての必要な施策の策定・実施の努力義務にとどまったものの、多様な民意が反映される社会への期待が高まり、政治の場における男女共同参画が一歩前進することとなりました。

当市でも市議会議員26名中、女性議員は1名というのが現状です。これもアンコンシャス・バイアスの影響ではないでしょうか？



区分	男女平等になっていると思う割合（％）
家庭生活	27.5%
職場	17.2%
学校教育の場	56.3%
地域社会の場	29.1%
社会通念・慣習しきたりなど	12.1%
政治の場	10.4%
法律や制度	23.0%

五所川原市男女共同参画に関する市民アンケート（H28）

良かれと思ったあなたのその言動は・・・

- ・小さい子どもがいるから残業しなくても済む範囲の仕事だけ任せよう
- ・女性を一人で遠くに出張させるのは心配だ
- ・子どもを持つ女性には、子どもが急に体調不良になっても休みやすいよう、責任を伴う大きな案件は任せない

みなさんの中にも、女性に対してこのような配慮をしたことがある方はいませんか？それぞれの置かれた状況は異なるのに、「（子どもを持つ）女性は○○だろう」という思い込みによる偏った見方が、女性の社会進出の妨げになっていることも少なくありません。

良かれと思った周囲の気遣いが女性のやる気をそぎ、成長の機会を奪い、女性のキャリアビジョンを描きにくくしているのです。

女性が自らの可能性を信じて、活躍できる社会づくりのため、今私たちにできることは何か、考えていくことが大切です。

無意識の偏見の意識

みなさんがアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を持っていることはごく自然なことです。

自らの持つアンコンシャス・バイアスに気づき、それを意識することは、みなさん一人一人ができる男女共同参画社会への一歩です。

それぞれを尊重し合える社会、男女が輝ける社会になるよう、今日から無意識の偏見を意識した生活を一緒に始めてみませんか？

編集後記

偏見という私の中にあるフィルターを今回の編集を通して改めて自覚しました。

狭い概念を取り払い、多様性を受け入れる事で、幸せの価値は豊かになるのかもしれないね。（C）

—●— さんかく編集委員6名 —●—